



児童の主体的な活動を大切に

校庭の木々の緑が深みを増してきました。過ごしやすい季節、子どもたちは、毎日一生懸命に学習に取り組んだり、元気よく友だちと遊んだりしながら学校生活を送っています。

先日、児童集会が行われ、6月の生活目標と取組内容を各クラスの代表が発表しました。その後、児童会が「気持ちのよい挨拶とはどんな挨拶か」「時間を守らないとどうなるか」についてみんなに問いかけ、よりよい見本を自分たちが考えたミニ劇で示してくれました。最後に、図書・保健委員会が、正しいメディアの使い方について掲示物を作り、みんなにわかりやすく発表してくれました。子どもたちは、自分たちの生活を見つめ直し、よりよくしていこうと考える機会になりました。

今後もよりよい生活習慣を身に付け、気持ちの良い毎日を送れるように習慣化していってほしいと思います。



豊かな体験を通して真の学びを

今年度も、地域の皆様にお世話になりながら、ふるさと学習として「さつまいもや梅、もち米」の生産体験活動や加太の伝統行事を学ぶ学習、森林学習などを行います。生産体験活動として1学期は、田植えを行いました。他にも、1・2年生が北在家の畑でさつまいもの植え付けを、3・4年生が北在家の梅栽培圃場で梅の観察をしました。

このように地域の皆様とふれあう中で、子どもたちは、いろいろな知恵や技術だけでなく、出会った方の生き様や人間味などを感じることができます。人とふれあうことは、子どもたちが人間的に大きく成長することにつながります。今後も自然体験だけでなく、社会体験や文化体験、創造体験など様々な活動を行い、多くの人と出会う中で、人間関係力や協調性など、様々な力を養っていきます。



5月の学校風景



【1・2年 学校たんけん】

特別教室を中心に2年生が1年生を説明しながら案内しました。



【5年 ジュニア救命士講座】

消防署の方に、心肺蘇生法とAEDの使い方について教えてもらいました。



【3・4年 外国語活動の授業】

今年度のALTの先生は、デービット アンソニーオズボーン先生です。みんなで楽しく英語の学習をしています。



加太小学校創立150周年記念事業「陶板焼き」をしよう

今年度、創立150周年を迎える記念に、後世に残る物をみんなで作ろうと「陶板焼き」に挑戦します。その試作品として、先日5年生が陶板焼きの作品を作りました。ゲストティーチャーの方に教えてもらいながら粘土に貝殻や木切れて模様をつけたり、いろいろな太さの木の枝で線をかいたりしながら作品を仕上げていきました。

陶板焼きのテーマは、「自分の笑顔」です。全校児童一人一人が15cm四方の粘土に「貼る」「彫る」「模様をつける」など、様々な技法を用いて自分の笑顔を作っていきます。

保護者の皆様も子どもたちがつくっている様子をご覧いただけますので、ご都合のつく方をご参観ください。

日時 6月30日(月)9時40分～12時

場所 図工室



～令和7年度教科書展示会開催のお知らせ～

期日 令和7年6月21日(土)～7月7日(月)

時間 9:00～20:00(火曜日、第4金曜日を除く)

場所 亀山市立図書館

